

第6学年 社会科 単元名「新しい日本、平和な日本へ」

1. 目標

- 戦後の日本の復興や今日までの社会の様子について学習問題を見出し、日本国憲法の制定、オリンピックの開催など日本の戦後の歩みについて、教科書や資料集、本や年表、その他の資料を活用して調べ、これらを関連付けたり、統合したりしてまとめることで、戦後、民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解することができる。また、平和で民主的な国家の一員として世界の人々とともに生きていくことを大切にする態度を身に付ける。

2. 指導計画（8時間扱い）

見通す 取組む	①時	戦後間もなくのころ、オリンピックのころ、現在の新宿の写真を見比べて、町の変化について話し合い、学習問題をつくる。
	②時	戦後の日本では、どのような改革が行われ、国民のどのような生活をしていたのかを話し合う。
	③時	日本は国際社会にどのように復帰し、国民はどのような生活をしていたのかを話し合う。
	④時	東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに日本はどう変わり、国民生活はどうなったのかを話し合う。 ←学び合いの例
振り返る	⑤時	オリンピック・パラリンピックについて調べ、知ろう。
	⑥時	札幌オリンピック、長野オリンピックが開催されたころの日本はどんな国だったのか話し合う。
	⑦時	戦後、日本はどのようなことがあり、国民の生活はどのように変わったのか、調べたことをまとめる。
	⑧時	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて自分たちにできることを考える。

3. 第④時について

○目標

東京オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけにさらに経済が発展し、国民の生活が向上したことがわかる。【技能】【知識・理解】

見通す	活動①	資料から読み取る。 戦後、たった19年でオリンピックが開催されるまで復興したことに注目させる。 <ul style="list-style-type: none">・新幹線ができたことにより東京から大阪までかかる時間が短くなったこと。・新幹線の開発に東京オリンピック・パラリンピックが関わっていること。・本庄市も聖火コースだったこと。 〈資料〉 <ul style="list-style-type: none">・新幹線の登場（東京-大阪間の所要時間の短縮）・聖火トーチ
	活動②	本時の学習課題を確認する。 「東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに日本はどう変わり、国民生活はどうなったのだろうか。」
取組む		

活動③ オリンピックをきっかけに日本は新幹線以外にも何か変わったことがないか見通しを持つ。

- ・戦後間もなくと1964年の新宿の写真を見比べ、他に変わったことがないか考える。

〈資料〉

- ・戦後間もない新宿の様子
- ・1964年の新宿の様子

活動④ 教科書・資料集から戦後の日本の変化を読み取る。

- ・東京オリンピックの開催や産業の発展について必要な情報を読み取る。
- ・オリンピックをきっかけに変わったことをノート・付箋に記入する。

〈児童の反応〉

「高速道路や地下鉄ができた」「ホテルなどの建物が増えた」

「産業がさらに発展した」「3Cが家庭に広まった」「重化学コンビナートが作られた」

活動⑤ 戦後の日本の変化についてグループで考えを深める。

- ・意見を発表し、付箋を思考ツールに貼り、見出しをつける。
- ・班のまとめを考える。

活動⑥ グループのまとめを発表する。

- ・各班がまとめた内容から気になるところ、共通点などを児童から出させる。

〈児童の反応〉

「国民生活の向上」「交通の発達」「生活が豊かになった」「産業が発展した」

「新しい都市づくりが進んだ」国民に自信を与えた」「3Cが広がった」「環境問題」

活動⑦ 全体でまとめをする。

- ・児童の言葉（各班のまとめ）を生かしてまとめる

「東京オリンピック・パラリンピックの開催で、産業はさらに発展し、3Cの登場など国民の生活がより豊かになった。しかし、環境問題などもでてきた。」

活動⑧ ゲストティーチャーの話を聞く。

- ・東京オリンピックを経験した当時の人たちの思いを知る。
- ・ブラインドサッカーのキャンプ地として本庄市が参加する。

活動⑨ 本時の学習を振り返る。

公害などの環境問題について触れ、次時へつなげる。

- ・食べ物に困る時代から豊かな生活ができる時代になった。
- ・オリンピック、パラリンピックをきっかけに経済が発展していった。
- ・経済が発展していく中で公害などの問題もあった。

〈児童の振り返り〉

「オリンピックによって産業が発展し、3Cが登場したのはすごく生活が豊かになったのだと思いました。」

「3Cなどの登場で東京などは豊かになったけど原爆が落ちた広島や長崎はどうなったのか知りたい。」

「経済が発展していく中で公害などの問題もあった。」

4. 学び合いの例について

【活動④⑤】：思考ツール】

(手だて)

①自分の考えを持ち、意見交換をする。

本時に教科書・資料から読み取り、わかったことを付箋紙に書く。

その考えをグループに持ち寄り、付箋紙を貼りながら意見交換をする。

②見出しをつける。

似た意見は仲間分けをし、小見出しをつける

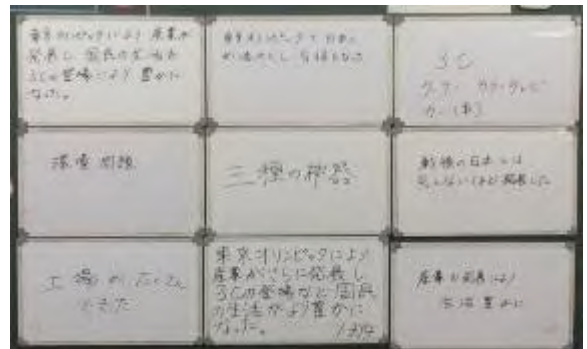
③課題に対するまとめを書く。

小見出しをもとに本時の課題に対するまとめをグループで書く。

(留意点)

司会・発表・記録・準備、片付けといった役割を決めておく。

思考ツールのやり方に慣れさせる必要がある。



【活動⑧】：ゲストティーチャーの活用】

(手だて)

実際に東京オリンピックを観戦した方をお招きし、当時の様子や競技種目を観て感動したことをお話していただいた。

戦時中から戦後の学習した時代までと、1964年東京オリンピックの資料を掲示し、当時の時代背景を、いつでも見られる環境をつくっておく。

(留意点)

事前の打ち合わせを行い、質問内容、本時の課題に沿った話をしていただく必要がある。



小学校第6学年 社会科

単元名 「新しい日本, 平和な日本」

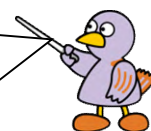
取組のワンポイントアドバイス



こうすればうまくいくよ！
実践にあたり工夫したところ・子供たちの変容の様子を教えます。

戦争からの復興を強調するため、前の単元「長く続いた戦争」では当時の児玉地域の生活（食べ物、着るもの、日々の暮らし）や戦争による被害について、調べる時間を設定しました。身近な事象を取り上げることで、視野を地域から日本へと広げ、日本全体の復興について考えることができました。

単元を通じて、戦後の「国民生活」について毎時間、課題を設定しました。当時の人々の生活について毎時間調べることで社会の変化と相互に関連し、国民生活が向上していくことで日本が発展したことに気付かせることができました。



東京オリンピックをきっかけに急速に日本が発展することを学ばせるために、1960年と1977年で小学校の先生の給料が1万円から9万2千円になるなど、具体的な事例を示しました。

また、東京オリンピックを実際に目にした人の話や聖火トーチなど実物を紹介することで、当時の社会の変化についての理解が深まりました。

話し合い活動では、自力解決の時間を十分にとり、自分の考えを持たせてから話し合いを行いました。また、話し合う内容を（調べること、調べるページ）板書し、取り組む内容を明確にしました。

グループ編成を4人で行い・司会・発表・記録・準備片づけと役割を明確にし、話し合う時間を十分にとることでスムーズに話し合いが進められるようにしました。思考ツールを活用し、思考を可視化することで、考えを深められるようにしました。

